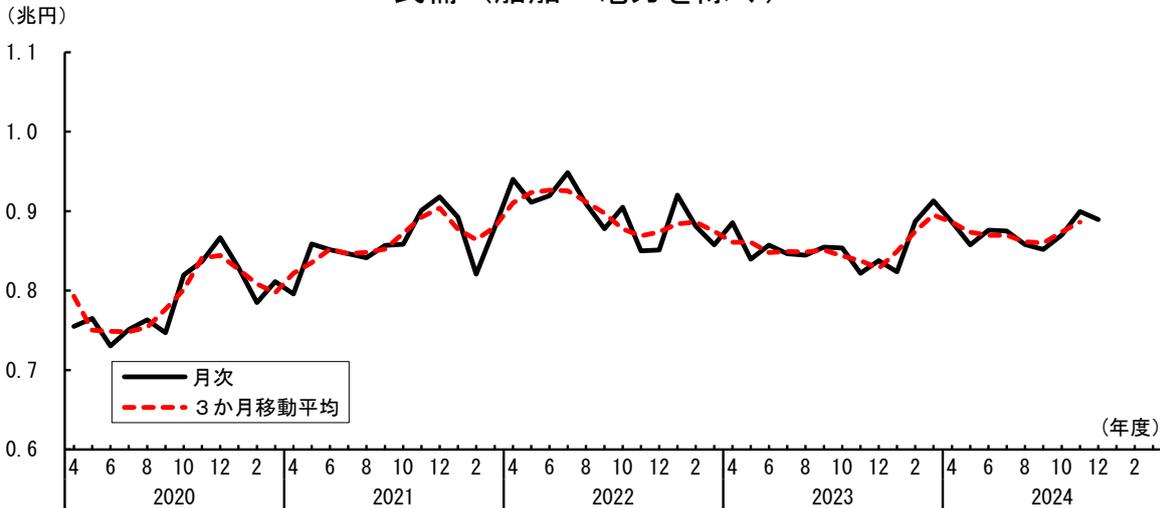


機械受注統計調査(令和6(2024)年12月実績及び令和7(2025)年1~3月見通し)  
結果の概要

—機械受注は、持ち直しの動きがみられる—  
(基調判断据置き)

- 民間設備投資の先行指数である「船舶・電力を除く民需」は、12月は前月と比較して1.2%減少し、3か月ぶりの減少となった。
- この要因として、内訳をみると、製造業が10.4%減、非製造業(船舶・電力除く)が4.7%増となったことが挙げられる。
- こうしたことから、機械受注は、持ち直しの動きがみられる。

民需(船舶・電力を除く)



対前月(期)比

(単位:%)

需要者	2024年 (令和6年)				2025年 (令和7年) 1-3月 見通し	2024年 (令和6年)			
	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績		9月 実績	10月 実績	11月 実績	12月 実績
受注総額	6.3	7.4	△4.7	5.3	1.3	△2.9	21.1	△14.4	△2.9
民需	△1.3	16.4	△15.8	10.5	△4.2	1.1	25.4	△12.4	△10.3
〃(船舶・電力を除く)	4.4	△0.1	△1.3	2.9	△2.3	△0.7	2.1	3.4	△1.2
製造業	0.9	2.8	△7.2	11.9	△2.8	△0.0	12.5	6.0	△10.4
非製造業(除船・電)	6.8	△3.7	1.4	△0.5	△2.2	1.5	△1.2	1.2	4.7
官公需	55.1	△33.6	30.7	35.3	△11.7	13.6	49.9	△29.5	△16.6
外需	△4.7	21.7	△2.1	△6.4	2.0	△10.3	7.9	△5.3	8.5
代理店	3.2	△7.3	8.0	△3.1	5.2	4.9	△4.2	6.7	△9.5
民需(船舶電力を除く) 3か月移動平均	-	-	-	-	-	△0.2	1.6	1.4	-

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

2. △印は減少を示す。

3. 見通しは2024年12月末時点の調査。